

平成 27 年度 第 11 回西区自治協議会会議録

日時：平成28年2月25日（木）午後3：00～4：35

会場：西区役所健康センター棟 3 階大会議室

< 1 開会 >

< 2 新任委員の就任について >

（司会：山本課長補佐）

それでは次第の 2 番目、新任委員の就任について、私からご紹介させていただきます。前回第 10 回の本会でご了解いただきました内野・五十嵐まちづくり協議会からの推薦委員につきまして、事務局で要件を確認させていただき、手続きをしまして、本日から委員にご就任いただいております。田村信雄委員でございます。では田村委員、一言ご挨拶をお願いいたします。

（田村委員）

今ほどご紹介いただきました内野・五十嵐まちづくり協議会の田村です。よろしくお願ひします。内野の協議会は 1 月 16 日に発足しました。皆さんの協力を得て、これから頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。簡単ですけど、これで挨拶に代えさせていただきます。

（司会：山本課長補佐）

ありがとうございました。田村委員への委嘱状は会議開催に先立ちまして、事前にお渡しさせていただいております。皆様には資料 1 をご覧いただければと思います。資料 1 に今ほどご紹介した田村委員を含めた委員名簿を記載しております。なお部会については、ご本人のご意向をお聞きしたうえで、部会員の人数構成の関係で、第 1 部会にご出席いただくこととなっておりますので、よろしくお願ひいたします。これ以降の議事につきましては岩協会長からお願ひしたいと思っております。

< 3 平成 28 年度 新潟市政の展望について >

（岩協会長）

それでは議題に入ります前に、本日篠田市長より、平成 28 年度新潟市政の展望について、お話をいただきます。市長の説明は 20 分程度でございます。その後質疑応答等も含めて、全体で概ね 1 時間、午後 4 時までの予定と聞いております。なお、質疑応答につきましては、本日は自治協委員との懇談の場であることから、ご発言は委員の方に限らせていただきます。それでは市長、よろしくお願ひいたします。

(篠田市長)

皆さん、こんにちは。今日は本当にお忙しい中お集まりいただき、また自治協委員として西区の区政の円滑な運営、新潟市の市政の円滑な運営にご協力を普段からいただいていることについて感謝申し上げます。今日は私から、お手元のこの資料に基づきまして20分ほどお話をさせていただきたいと思っております。平成28年度新潟市政の展望ということであり、28年2月となっているのですが、これはほかの自治協に1月にご説明しておりますので、1月時点の資料になっています。最新トピックスとしてNGT48など書かせていただいておりますが、本当の最新のトピックスでいいますと、昨年10月1日の新潟市の人口の国勢調査の結果が出たということであり、速報値でありますけれども、新潟市はこの5年間で残念ながら1,380人ほど人口が減ったということでございました。しかしその前の5年間は1,900人以上減っていたということと比べますと、やや下げ幅を圧縮することができたと。そして国が平成22年の国勢調査のときに27年の新潟市の人口はこうなりますよという推計予測人口、これを出してくれていたのですが、それに比べますと9,600人ほど上振れしたということで、我々がこの5年間、皆様と共にやって来た施策が、一定程度人口減少に歯止めをかけることができたのではないかと思います、また人口の予測というものは取組方によって大きく変わるのだということも、この5年間の事例を持ってお示しをし、これからもがんばりましょうということがいえる数字になったのではないかと思います。ちなみに新潟県は7,000人ほど上振れしたというお話なのですが、新潟市の9,600人近くを引きますと、2,000人ほど下振れしたということなので、新潟県の人口は、依然として厳しい状況にあるということで、新潟県と一緒に、しっかりと今後もやっていきたいと思っております。

そういう中で、4月23・24日に、G7新潟農業大臣会合が開かれますので、新潟の食と農の魅力、新潟の魅力をしっかりとアピールしていきたいと思っております。また国家戦略特区、農業都市戦略特区の今の状況でありますけれども、7つの企業団体が特例農業法人を設立し、さらに2つの計画が順調に進んでいるということでもあります。ローソン、セブンアンドアイ、JR東日本など日本を代表する大手企業にも参画をいただき、地元企業も新潟麦酒、ひらせいホームセンター、さらに一番ありがたいのは新潟クボタ、こちらが西区で耕作放棄畑、これを小麦で再生しているということでもあります。その小麦は新潟市の製粉会社が原料にして、そしてパン屋に並ぶということになりますので、絵に描いたような六次産業化ということが西区でスタートしていると。さらに新潟クボタは、今年西蒲区で輸出用米に特化したコメの栽培もやるということですので、我々これらの取組をより広く効果が出るように、JAなどと一緒に頑張りたいと思っております。

また農家レストランが西蒲区で2軒、そして北区で1軒、年度内にはできあがるという状況であります。またほかにも国家戦略特区、農業委員会との事務分担、農地法3条の関係はすべて新潟市が分担するというので、農業委員会と話し合いが済んだということでもあります。

1枚おめくりいただくと、こちらは規制緩和をやっていませんということなのですが、様々な取組が新潟市で始まっていると。電通は、ゲノム解析で非常にレベルの高いゲノメディアという会社と組んで、なぜ新潟の枝豆がうまいのか、これをゲノムで解析するとさらに首都圏の、例えば若い女性はどういう枝豆の味を好むのか、そういうマーケティングをやって、それをまた品種改良に活かしていく。最終的には低湿地帯でも栽培が容易な大豆の品種改良をやっていただくということで動いております。ぐるなびは、地域活性化の包括連携協定に京都市に次いで第2号として締結いただき、新潟には非常におもしろい食材、隠れた農産物があるから、全国に紹介したいということで動いております。パナソニックはレタス関係の植物工場、そしてNTTドコモ東日本、ソフトバンク、IHI、いずれもICT農業ということで参画をいただいております。

次のコマが政令市第2ステージへ進むというご説明です。新年度は新潟市が政令指定都市に移行してから10年目ということになります。これまで合併建設などで進めてきたまちづくり。これをより今度は持続可能なまちづくりにしていくという第2ステージに進んでいくということであります。新しい総合計画であるいがた未来ビジョン、今年度から動かし始めているわけですが、そこにさらに昨年策定した、新潟市まち・ひと・しごと創生の総合戦略、これを重ね合わせて、新潟が地方創生のトップランナーになれるように頑張りたいという方向性であります。そして時代潮流と市政の重要課題。ここでは人口減少、少子超高齢社会への対応ということについて書いてありますが、これは後ほどまたご説明させていただきます。持続可能なまちをつくるためには、財政が持続可能でなければならないということであります。我々は財政面であまり豊かではない15市町村が一緒になったということがございます。そういう面で合併建設なども真面目にやりましたので財政面では数字が若干ですが年々悪化していると。政令市の中でそれほどひどい数字ではないのですが、やっぱりこれからはより社会保障費などが増加してくるということですので、財政健全化に憂慮していく必要があると。基金の残高についても、これも合併建設計画の中で財政計画をお示しし、その基金の取り崩しの内輪で収まっていたのですが、もうかなり底をついてきたと。新年度は基金の取り崩しを今後最小にするということがございます。その次の年度まで基金を取り崩しさせていただきますが、その次からは基金を積み増すという方向に移っていきたいと思っております。

また裏側のページであります。そのためにはプライマリーバランス、収支均衡を図るということで、基礎的な財政収支、プライマリーバランスについて、新年度は収支均衡を図り、18億円程度をプラスにしていくということで予算を編成いたしました。市債残高も縮減の方向に移っていくということであります。さらに新潟市は大合併をし、合併建設もやりまして、市民一人当たりが持つ公共施設の面積が、公営住宅分を除きますと政令市で最大であると。この公共施設をすべて維持、管理、修繕、建て直しをやっていくと、新しいまちづくりへの投資が限定的になるということなので、これからはよりしっかりしている施設を複合化、総合化して、行政サービスのレベルは上げていく。しかし公共施設の数

は減らしていくという方向に舵を切る。いわゆるファシリティマネジメントをやらせていただきたいということでもあります。

そして28年度、新潟市政の取組。先ほど申し上げたにいがた未来ビジョンでは、安心協働、環境健康、そして創造交流都市、この3つの都市像を明確にしていくと。さらに総合戦略では、「しごと」の分野で雇用創出と交流人口の拡大。「ひと」の分野では少子化の克服。「まち」の分野では、誰もが安心して暮らせるまちという4つの基本目標を立てております。この方向を動かしていくんだということでもあります。

次からは3つの都市像ごとの説明です。まずは安心協働都市というところで、介護保険制度が平成29年度から大きく変わるということでもあります。それに向けて、我々は介護予防、生活支援サービスなど充実を図っていくと。その一つに地域で医療、介護が受けられる、またそれを可能にする医療、看護、介護チーム、小規模多機能施設、住宅リフォーム、これらを組み合わせしていくという、いわゆる地域包括ケアシステムを確立しようということでもあります。新潟市はこれまで5年間で特別養護老人ホーム1,000床程度の整備前倒しということやってまいりました。その結果、介護サービスが充実すれば、介護保険料も上るということで、これまでは20政令市の中で新潟市の介護保険料が一番高かったと。現在は大阪市が一番高いということになるかと思えます。これからも特養などの大型施設をどんどん作っていくと、介護保険料が上ってしまうということ、そういう面からも地域包括に軸足を移していきたいと思っております。

また新しい支え合いのしくみをそれぞれの地域でつくっていくということ、そのモデルハウスを「実家の茶の間」という形で、東区の紫竹で運営しております。地域の茶の間を全国に広めた河田瑠子さんが代表を務める団体と協働で運営していると。ここに人材育成、研修の機能も持っていただいて、そこで学んでいただいた方が、これからすべての区にモデルハウスをつくるということ、動いていただきたいと思っております。

それではもう一枚おめくりいただきたいと思えます。男女共同参画、そして子どもを安心に育てられるまちということでもあります。妊娠、出産、子育てを一貫して支援していく、切れ目のない支援ということがキーワードになっております。例えば先ほどの実家の茶の間のようなところに、保健師も毎週何曜日は常駐するというので気軽に健康相談ができる、子育て相談ができる。フィンランドにあるネウボラというやり方なんだそうですが、新潟市もその方向でやっていくということが一つであります。そして地域でのひまわりクラブの運営。これを今3つのコミ協に運営いただいているのですが、新年度は運営主体とコミ協が連携して、より手厚く子どもに目を配らせていく、そんな取組を強化いただければありがたいと思っております。待機児童ゼロ、これはまた新年度も保育所などを新設あるいは拡充して堅持するということでもあります。働き方についても考えていきたいと思います。

次の環境健康都市の分野では6次産業化、新潟、田園、大地の力をフルに活用しようということ、動いているわけですが、それをさらに子育て、これは幼稚園・保育園などで、

家庭から野菜くずを持って来ていただいて、それを肥料にして元気な野菜を育てる菌ちゃん野菜づくり。教育は農業体験、教育ファームということで動き出しております。これを拡充していこうと。そして福祉、障がい者が農業と相性がいいということが各地で実証されてきました。農福連携を新潟も本格的にやっていこうと。そして保健医療。これは例えば新潟にはアレルギー対応食、非常食、介護食、病院食、そういう優れた食品の加工メーカーがあると。これをもっと保健医療に活かしていこうと。そして減塩。これも企業を巻き込んで広めていくということで保健医療にもこの農業、大地の力を使おうと。

エネルギー・環境では特に今年のごみをエネルギー源として活用するというところにほぼめどが立ってきたと。富山県立大学と組んでやっているのですけれど、こういう燃やし方で、こういう温度でやると、もみ殻の灰が肥料として活用できるということがほぼ実証されましたので、それを今年本格導入したいと思っています。

これらの5つの分野で様々な活動をやっていくと、必ず交流が発生するということがあります。既に首都圏の意識の高い消費者が、新潟の意欲的な生産者、農家と結びついていますが、新潟市民が意外とその農家のことを知らないということで、これはあまりにももったいないと。もっと新潟のすばらしい農家に光を当てて、まず市民と交流、そしてよそから来られた方とも交流をしていく。そんな6次産業化に加えて6つの分野で頑張ろうということで、言葉遊びで12次産業化ということを進めていこうということでもあります。

また持続可能なまちをつくっていくには持続可能な公共交通が重要だということでもあります。新バスシステム、BRT開業当初はいろいろご迷惑をおかけしましたが、今は大変安定して運行されているということでもあります。これをより使いやすいシステムに改善していこうということでもあります。また新潟交通と運行事業協定を結んで、この5年間、新潟交通は減らし続けてきたバスの営業走行キロを担保する、キープすると言っておりますので、これを大きな契機として、まずは住民バス、そして新年度以降は区バスも支援を強化したいと思っています。さらに新潟交通との一定の信頼関係もできましたので、これまで社会実験でやってきた65歳以上の方のシニア半割、これをすべての65歳以上を対象に新年度は取り組んでいくということにしてまいります。どんどんシニア半割の利用者が増えると新潟市の支援もかさんで来るので、ここまできたら今度は新潟交通側に事業効果が出てくるので、そうしたらあとは新潟交通に負担していただくという方向で合意いたしました。こういう形で持続可能なシニア半割、これを新年度7月ごろになると思うのですがスタートさせたいと思っています。

そして女性、若者が働きやすい環境づくり。特に女性も男性も育児、家事で役割を果たすということが非常に大事だと思っています。U・I・Jターン、これもしっかり取り組んでいく。アクティブシニア、元気なお年寄りから新潟に来ていただく。そんな取組も評価していきたいと思っています。

裏面でございます。こちらは創造交流都市の分野であります。まずは、新潟市は国土強靱化地域計画第一次モデル団体に選ばれて計画を作り終えているということでもあります。

足元の安全度をさらに向上させる。そして平時の拠点化を図ることで、万が一太平洋側が広範な被害を受けたときには、新潟市が防災救援首都になるという取組を推進するということでもあります。

そして雇用。これが非常に重要で、特に若者、U・I・Jターン者に魅力のある雇用を創出しよう。一つは6次産業化、ニューフードバレーを推進すること。そして新しい産業の柱として、例えば航空機産業。西蒲区のエンジン関係の部品共同工場で大変レベルの高い部品が作れるようになった。そして次は南区に機体関係の戦略的複合共同工場を、年度内に完全に整備を終えるということで、本格操業に入っていくということでございます。創業、起業への支援もしっかりやっていきたいということでもあります。

そして魅力を活かした交流拠点。交流人口を拡大するというのが非常に重要ですので、中でも新潟のいわばカギとなる食を世界に向けて発信していく。そんな年にしていきたいと思っております。また去年はミラノで食の国際万博が開かれ、新潟市も出店したわけですが、その縁で、ミラノでやっていたピースフード運動。和食のすばらしさを伝えるという取組をやっていた方たち、イタリアのスローフード協会とも結びついているのですが、今年日本でやりたいと、その拠点を新潟に置きたいということで、ピースキッチン運動なども連携して、頑張っている農家、生産者に光を当てながら、生産者と料理人、シェフ、料理店、こういうものをつないでいく取組を強化したいと思っております。それはインバウンドにも生きていくということだと思います。

そして最後のページであります。世界とつながる拠点ということでは、昨年、新潟市は、東アジア文化都市の日本代表都市に指定をいただいたと。今年、奈良市、来年は京都市ということでラインナップが決まっております。この東アジア文化都市のネットワークをより生かしていこうという取組。さらに先ほど申し上げたG7新潟農業大臣会合、これを絶好の機会として新潟の食、農を発信していこうということで、今準備を進めているという状況でございます。新年度はこんなことで頑張りたいということでもありますし、それについては新年度予算案を、今、新潟市議会に提案させていただき、ご審議いただいているということでもあります。これをお認めいただいて、新年度皆様と一緒に日本一安心な政令指定都市をつくる取組を強化してまいりたいと思っております。わたしからは以上とさせていただきます。あとは皆様からご意見、ご質問などいただき、それにお答えしていきたいと思っております。ありがとうございました。

(岩協会長)

ありがとうございました。それでは委員の皆様より、ご意見、ご質問等をお願いしたいと思います。冒頭お伝えいたしましたように、本日は自治協委員との市長との懇談の場であることから、ご発言は委員の方に限らせていただきます。できるだけ多くの委員から発言いただきたいため、ご意見はできるだけ項目をしぼり、簡潔をお願いいたします。ご発言をご希望の委員はいらっしゃいますか。では、郷委員、お願いします。

(郷委員)

第2部会長をしております郷です。よろしく申し上げます。今、来年度の展望をお聞きしました。第2部会では高齢者の支え合いの問題、子どもたちの教育の問題、そういったことをいろいろ話し合っております。高齢者の支え合い、そして地域でのひまわりクラブの運営等、市民と行政が協働でやる事業がたくさん出てきておりますが、地域の担い手をなかなか私たちの力だけでは探しきれていない。どんどんやるべき事業が増えてきていて、私たちも頑張らなければだめだなと思って、声かけをしたり、いろいろな仕組みをつくって地域で増やしたりしていますが、支え合いのときには特に65歳以上の元気な高齢者が、少し弱っている高齢者を支え合うということなのですが、元気な高齢者がどこにたくさんいるのかという感覚と、それからその方々に、これからの時代はみんなで支え合っていく時代なんだという認識がなかなか刷り込まれていないのではないかという感じがしております。私たちの町内でお声がけはしていますが、ぜひ行政から、もう少し元気な高齢者、例えば退職する方々の企業に、これからはこういう時代なんだよ、新潟市でこれからずっと安心して暮らしていくためには、みんなが支え合いの担い手になるんだよという、そんな働きかけをして、一緒に大きな仕組みをつくっていけるようになるといいのではないかと思いますので、ぜひ行政のお力もよろしくお願ひしたいと思っております。

(篠田市長)

ありがとうございます。地域包括ケアシステムと国は簡単に言うのですが、これはまだ全国どこにもできていない。モデルがないわけでありまして。それを新潟市はさわやか福祉財団などと包括提携協定を結んで、新潟市がそれをモデル的につくれたらと。まちなかも田園地帯も、そして新興住宅地、今オールタウンになっているところもありますが、みんな新潟にそろっているんで、新潟と組んで徹底的にやっていきたいと。あそこはノウハウもありますし、また国にもいろいろなことを直言できるということなので、非常にありがたいネットワークになっていると。しかし全国でやったことのないことをやるわけですのでなかなか理解いただくのも難しいと。

そういう面でホラーストーリーじゃないのですけれど、何もやらないとこんなことになってしまいますよという事例が、今、東京都ですでに出てきていると。それは5年ぐらい前までは、在宅で亡くなる方の率が一番高いのは長野県ということでした。もう定番でした。医療機関が山のあたりには少ないというものもあるのですけれど、地域の絆、家族の絆があって、尊厳を持って自宅で亡くなられる方が多いという、長野県のいいイメージにもつながっていたのですが、2013年に見たら、東京都が一気にトップになったと。在宅死率のトップは東京都だそうであります。東京で地域の絆、家族の絆があるというお宅はそんなに多くないと思います。その結果、在宅でお亡くなりになる方の3分の1は孤独死だという恐ろしいデータです。その他に突然死、異常死などがあるので、こういう事態が、何もしないと発生してしまうということも、これから自治協の皆

さん、コミ協の皆さん、そして一生懸命やっただいている民生委員の方にもどんどんお伝えして、新潟市はそういうことは絶対に作り出したくないと。今から頑張れば、そういう事態は回避されると。尊厳を持って自宅で亡くなる方の率が増えるのは結構なのですが、それには準備が必要ということで、今新しい支え合いのしくみづくり、そして地域で医療、介護が受けられる。それを可能にする医療、看護、介護チーム、小規模多機能施設、住宅リフォーム、そういうものが必要なんだということを、我々もできるだけ多くの機会呼びかけていきます。

そして一方では元気なお年寄りがすごい役割を果たしてくれているところもあると。実家の茶の間では、80代の男性トリオが大工仕事をやったり、周辺の花壇の整備をしたり、環境整備したり、普段は支えられる側の80代トリオが、この仕事なら俺がやるよということでやっただいている。そんな事例を見ていただき、またこれからは全区でそれに組み込んでいただいて、やはり物事が動き出さないと、頭で考えているだけでは、なかなか参加しようと思ってもどうしていいのかわからんと。この役割なら俺はできるよ、私はできますよということを、これからいろんな物事を現実に動かしていく中で、課題も見えてくるわけですし、それに参画する中で、また知恵も付き、顔も見えてくるという部分もあるので、いっきにはできないんですけど、一步一步前進していこうということで取り組んでいこうと思います。

本当にいろいろなことで地域の世話を焼いてくれる方に、まだまだこんなことを俺たちにやれと言うのかと怒られる部分もあるのですが、そういう部分を、いきなりひまわりクラブをコミ協で直接運営できないけれど、運営主体とコミ協がもっと関係を強化して、そして子どもたちのひまわりクラブの環境改善を学校と一緒にやっていくよという形で、少しずつ前進していただきたい。そのために新潟市もまず行政職員が本気を出さないとだめだよということで頑張りたいと思いますので、ぜひまたよろしくお願いします。ありがとうございました。

(岩協会長)

ありがとうございました。郷さん、第2部会は福祉関係の担当部会ですけど、また佐久間課長や河田珪子さんと呼んで、これからもっともっと勉強していかなければだめなんじゃないかと思います。やっとうりだということでございますので、よろしく願いいたしたいと思います。続きまして、大谷委員お願いいたします。

(大谷一男委員)

1号委員の大谷一男と申します。少子高齢化が進む中で、日常の生活において、子どもを見かける頻度が非常に少なくなってきております。逆に高齢者が増え続けているということで、大変大きな不安を感じております。近年地方創生ということで、全国のどの自治体も同じような人口減少への対策に必死に取り組んでいるように思いますが、これらは物

の見方を変えてみれば、逆に人口を増やす競争なのではないでしょうか。あるいは人口の減少はやむを得ないものとして、そうした時代に合った、いわゆる生活の暮らしの問題ではないでしょうか。どのようにとらえたらよろしいか、拡大均衡と縮小均衡の関係でお教え願えれば幸いです。

人口増のための対策であるとするならば、私は魅力的な都市づくりに尽きるのだらうと思います。そのことが効果的ではないかと考えております。例えば積年の課題であります上越新幹線を新潟空港へ延ばして、それぞれの魅力と機能を高める。あるいはBRTといった交通網をさらに拡充して、魅力ある輸送システムを構築するといったことが、新潟をより魅力的な都市にすると、そのような思いでそうした施策をぜひ実行していただきたいと思っております。新潟市は政令都市でございますからお隣の金沢市やあるいは仙台市に負けないような都市間競争を展開していただきたいと思っております。市長のご見解を伺いたいと思っております。

(篠田市長)

ありがとうございます。おっしゃるとおり、人口増を図る、そして人口減少を少しでも止める。この両方をやっていく必要があるのだらうと思っております。新潟市は人口増の面で、やはり県庁所在都市、また政令指定都市としての役割を果たすということが、新潟県の中でも求められているのだらうと。そういう面では人口予測が、1万人以上減るというものが、1,300人台の減少で終わったわけですが、仙台は震災の関係もあるのですけれど、増加しているという部分もございます。そういう部分で我々はまだまだやるべきことがいっぱいあると。空港アクセスについては、これは新潟県が役割を果たすのだということで役割分担しているのですが、さっぱり方向性が見えてこない。そろそろ我々もしびれを切らせてせつかなきゃだめだと思っております。そして公共交通関係。これも今回若者中心にアンケートを採ったら、新潟市の中で一番困っている、魅力がない、それは公共交通だと。公共交通が貧弱だと。これはダントツでした。ちょっとびっくりしました。我々は第1次のBRT計画、新バスシステムの改善を重ねてしっかりやると。同時に第2期には、駅南方向へ、そして環状線にしていく。それから各地域からのアクセスを多様にしていくのだというあたりもしっかりと示さないと、新潟が魅力的なまちであると、若者から受け取られないと。これは気をつけてやっていきたいと思っております。そして人口減少の激しい所、西蒲区が残念ながら県平均を上回る人口減少率ということでありました。そういうところは新潟市の中でも特区のような形でU・I・Jターン、これを頑張ってください。例えば越前浜。ここもどんどん人口が減少してきて、10年ぐらい前から、このままだと学校統廃合が必要ですよというデータをお示ししました。そうしたら地域は、いや、うちは絶対に学校はなくさないよ。よそから人に来てもらって頑張ると言っていたら、空き家、共有地などを有効活用していただき、今は人口の14%がよそから来られた方ということで、よそから来られた方がお産みになったお子さまも入れてですが、そんな状況になっていると

ころもあると。これからやはり田園は田園、まちなかはまちなか、空き家対策も含めて、多様なU・I・Jターンもやらなければだめだと思っております。その一つに元気なお年寄りから新潟に来ていただく。その取組も入れていきたいと思っております。本当にやるべきこと、考えられるものはすべてやっていくというようなつもりで、人口問題に対応する必要があると思っております。ありがとうございました。

(岩協会長)

ありがとうございました。村井委員、お願いします。

(村井委員)

青山コミ協の村井と申します。地域包括ケアシステムが平成27年度から計画的にスタートしているわけでありませうけれど、この絵の中にありますように、この中でも医療・住まい・介護・生活支援・介護予防となっていて、その中でも在宅医療というのは非常に大きな位置を占めていると私は理解します。医師会や関係医療機関の取組の現状、そしてこれからの展望というあたりを聞かせてもらいたい。もう一つが、それもまた私たちが理解しているところの大きな軸になりますが、看護小規模多機能施設を、私としては数多くつくってもらいたいと思っておりますけれど、その建設計画などを少し説明願えればと思っております。

(篠田市長)

ありがとうございます。これから地域包括、地域で医療、介護というときに、やはり医師会の取組というのがまず非常に重要なので、医師会と意見交換、情報交換をこの3年ほどくり返しやってきたと。そういう中で医師会も考え方といいますか、これからは訪問医療、在宅での医療が中心になっていく必要があるというところまで、大きく舵を切っていただいて、そして医療関係者、特に医者は福祉のことをよく知らないのだと。福祉の部分をもうちょっと勉強して、医療と福祉の連携をしっかりと図る必要があるということを、今の新潟市の医師会長が明確に方向性を出してくれて、ずいぶん3年前とは変わりました。今のところ看取りまでやっていただける医療、看護、介護チームが存在するという事なのでせうけれど、区の中でも空白エリアに近いところもあれば、この人口でこのチームではとても足りないねというところもございます。そういうあたりをこれから皆様にも見ていただいて、そして区の中で空白エリアがないように、医療、介護チームを育てていくという取組をやっていく必要があると思っております。

各区で協議体というのをつくっていただいたわけですが、それが今後はより身近なエリアの協議体をつくっていく段階に入ると。協議体は地域包括を動かしていく司令塔であり、また手足となって、民生委員と一緒にやっていくことが必要になってまいります。その中で小規模多機能施設をできるだけ数多く早めに整備していきたいと思っております。

今まで新潟市は、特別養護老人ホームなどのわりと大型の福祉施設を中心にやってきているわけですが、これは国の計画を5年以上先取りしているというところまでいっています。小規模多機能は、二十数人という形で、経営的に苦しいというお話もありますので、それをどういうふうに立ち上げ支援などをしていくのか。それからグループホームの整備もこれからより力を入れる必要があると思っています。今の整備状況などについては、次の会議のときにでも新潟市全体、西区の状況をお伝えさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

(岩協会長)

ありがとうございました。塩川委員、お願いいたします。

(塩川委員)

第3部会長の塩川です。よろしく願いいたします。この中に地域商店街活性化の取組がございませんが、市のお考えはいかがでしょうか。

(篠田市長)

ここには書いてないのですけれど、今年度から商店魅力アップ事業というものを始めさせていただきました。最初は商店街魅力アップ推進事業にしようと思ったのですが、商店街になっていない、商店が連なっていない個店も大事だというお話もいただいて、では商店街ということじゃなくて、商店魅力アップ事業という形でやらせていただき、今年度は店の改装、設備を改修する、そういうものに手を挙げた方へ7,000万円ほど事業費を使わせていただいていると。それによって後継者が、それならうちの店を私が継ぎますというものが出来たよとか、地域の人がこれで当分あなたの店は頑張るんだねと安心したとか、いろいろな効果も伺っています。ただ今年度スタートしたので、まだ知らないという店主もいらっしゃると思いますので、それこそ商工会議所、商工会などと連携して、やる気のあるお店に長く商売していただけるよう、こういう支援があるんですよということについても、情報をさらにお届けして頑張りたいと思っています。ぜひ商工会でもよろしく願いしたいと思います。ありがとうございました。

(岩協会長)

ありがとうございました。西区においても来年度、新潟大学などと連携して調査をする予定でございます。また秋葉区、北区等においても、地域の大学と連携してやっているようでございますので若い力の支援を得て、地域の活性化に努めたいと思いますので、また予算等についても、よろしく願いいたします。ほかに何かございますか。三富委員、お願いいたします。

(三富委員)

公募委員の三富と申します。今市長が話された内容については、新潟市総合計画の中の内容を抜粋して絵を描かれたと思うのですが、特に持続可能な財政運営の確立の中で、プライマリーバランスとファシリティマネジメントの考え方に基づく財政運営。これをもう少し具体的に、どういうふうにしてプライマリーバランスを直していく。市債とか借金を返していくということが書かれているように思うのですが、具体的にいったらなかなか難しいでしょうけれど、基本的な考えをもう少しお願いできたらと思います。

(篠田市長)

基本的には、新潟市は今まで合併建設をやる、またそれに備えた主要3基金を結構貯金していたわけですが、その主要基金も計画の範囲内に収めているとはいえ、相当底についてきたということでもありますので、これからは歳入と歳出、これを均衡させていこうということが一番であります。今年はまだ基金の取り崩しが政令指定都市に移行して一番少ない額であります、取り崩しをやらせていただいている。来年度、29年度まで取り崩しはやらせていただくけれど、それ以降は基金を積み増していく方向に移していきます。その上でプライマリーバランス、収支均衡を、今年は18億円のプラスですが、よりプラス幅を大きくしていきたい。そしてそれを市債の減少につなげていくということなので、はっきり言えば、「出づるを制して入るを量る」ということで、よりしっかりとした税収、またそれを可能にする働く場などを多くつくっていくということで頑張らなければだめだし、あとは支出を、これも選択と集中ということになりますが、私ども今回相当苦心の予算編成だったのですが、その中でも市民の皆様の暮らしの部分にできるだけ影響を出さないようにということで、民生費はかなりプラスにさせていただいたという状況であります。そのかわり、普通建設事業がちょうど大きな建設が今年度で終わるということで、新年度はその部分が100億円近く減るわけであります。しかし次年度はまた通年ベースに近く戻っていくと。そういう中でより収支均衡を図るのは大変なわけですが、しかしこれはもう絶対にプライマリーバランス、収支均衡を図っていくのだと。そうしないとまちづくりは持続可能にならないと。後世にツケををどんどん回していくわけにはいかないという考え方のもとで、議会のご理解もいただきながら、より選択と集中、これを厳選していくという形で動いていきたいと思っています。不完全かもしれませんが、基本的な方向はプライマリーバランスを守り、そして市債については減少させていくという、この大原則のもとでまちを運営させていただきたいということでもあります。

ファシリティマネジメントは、これはできるだけいい施設、そこにより多様な機能を付けていくと。今までは単一目的で単一施設ということが多かったのですが、これからは非常にしっかりしている施設であり、また公共交通の便もいい、そういうところにいろいろな機能を付けていくということで、できるだけ公共施設の数は減らしていく。またこれからコミ協単位で、あなたたちのエリアにはこういう公共施設がありますということ全部

見ていただきます。相当ばらついています。特に非常に公共施設の数が多く、また利用度が悪いというところについては、早期に手を打たせていただきたいと。そして中でも学校統合にご理解いただき進んでいるところ、それは今までの学校だったところをどういうふうに活用していくかということが、具体的な課題になっています。例えば潟東の3小学校、新潟島の4小学校、これはまずトップグループとして、ファシリティマネジメントの考え方でこういうふうにしていったらどうかということ地域の皆様にご相談していくということで、一つ一つ解決の方向が違ふと思いますので、得てして総論賛成、各論反対になりがちなので、皆様の理解を得られるようなデータ、そして全体の数字を見ていただきながら、ご議論いただくという段階に新年度は入って行きたいと思っています。ありがとうございました。

(岩協会長)

ありがとうございました。ここにおられる方々も今言われたような内容に興味を持ってこれから注視していただきたいと思います。終了の時間が近づいてきましたので、最後にもう一人。長谷川委員、簡潔明瞭にお願いいたします。

(長谷川委員)

市長に対しまして、これは再質問なのでございます。去年の春、ミーティングのときに一度お願いしたのです。政令指定都市になってから、自治会の事務手数料が十何年か据え置きで非常に安いといひましようか、事務手数料の割に事務の量がたくさん増えてきています。そしてまた今後、地域包括システム、地域の支え合いのしくみづくり、そういうことは自治会が原点になってくるわけですが、自治会がそういう活動をするにおいて人を動かすということは働いてもらう手間代も出さなきゃだめ。自治会費は1世帯500円が平均です。これ以上もう上げるわけにもいかないという実情の中で、去年の夏ぐらいでした。私が質問してから区の調査が入りました。どれぐらいの事務手数料なのか報告しなさいということで私報告させていただきました。その後予算化したのかお聞きしたい。もう10年、15年ぐらいになるわけですから、事務手数料を92円から193円ぐらいに上げていただきたいと、こういうお願いをしたわけなのですが、もう一度ここでお願いしておきます。

(篠田市長)

ありがとうございます。調査させていただき、また同規模他都市などとの比較、そしてほかにもいいやり方をしているところがないのか、そんなことを情報収集させていただいて。また新潟のごみ収集、特に資源ごみでありますけれど、そういうもので自治会に頑張らせていただいている。その頑張り方も新潟市の中で少し違っているところもありましたので、秋葉区などは従来型から少しオール新潟市型に展開してもらっているという状況であります。ただ、今財政が極めて厳しいという話ばかりして恐縮なのですが、抜本的に

改善に至っていないということだと思いますので、今年また調査の結果をどう活かしていくのかということ、各区長たちからも聞き取りをして、そしてほかの先進事例も見させていただいて、新潟市として活用できるものはどうなのだとということで、次の質問のときに、少し前進した方向が示せないかということで精査させていただきます。大変ありがとうございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。それでは予定していた時間となったようでございます。最後に市長より一言ご挨拶をお願いいたします。

(篠田市長)

今日、限られた時間でありましたが、いろいろな視点を教えていただき、またご指摘もいただいたということでありがとうございます。新潟市だけでなく全国的にそうなのですが、人口問題への対応、これは地域の総力戦であると思っております。特に行政が弱いのは、出会いの場づくりみたいなもので、西蒲区などはコミュニティ協議会が前面に出て、そして後ろに区役所がすぐ見えた方が、信用があっていいという地域もありますけれど、まちなかだと逆に行政の色が見えるのは嫌だという声もありますので、ここはノウハウを持ったNPOあるいは企業に頑張ってもらって、おおいに皆様からも、できればお力をいただければと。そして行政の果たす役割については、我々も最大限頑張っていくということで、地域の総力戦に打ち勝ちたいと思っております。

先ほどご説明させていただいたように、国の言う地域包括ケアシステム、このモデルが日本にはないので、そのモデルを我々がつくっていく。そういう産みの苦しみの役割を私どもが果たせるように頑張りたいと思っております。それにはさわやか福祉財団の様々なノウハウと我々が実感してきたこの課題を国としても解決する。そういう方向を示せるように頑張ってもらいたいということ、これを国へ要請、直言する。これを実践することで初めて国が耳を傾けてくれるというところがあると思っておりますので、我々のゴールは示されているのだけれど、そこに行き着く道がまだ明確にない。その道を走らなければならないということで、これもいろいろご心配、ご迷惑をおかけする部分があるかもしれませんが、ぜひ皆様から情報共有を積極的にやっていただき、我々行政としてもどんどん、これをやらないとこういふふうになっていくのではないかと、ホラーストーリーという悪い言い方があるのですが、そんなものもおしをしながら、皆様と共にまちづくりを前進させ、日本一安心な政令指定都市をつくっていく。その大きなステップを今年踏んでいきたいと思っておりますので、またご協力、そしてご実践、ときにはお叱りもいただきつつ、共に進んでいきたいと思っております。今日は貴重な時間をいただき、誠にありがとうございました。また、よろしく願いいたします。

(岩協会長)

どうもありがとうございました。

< 4 議事 (1) 部会の状況報告 (通常部会・特別部会) >

(岩協会長)

それではこれより議事に入りたいと思います。はじめに事務局から資料の確認をお願いいたします。

— 資料確認 —

(岩協会長)

では、(1) 部会の状況報告でございます。各部会長から簡潔に報告をお願いいたします。それでは第1部会の笠原部会長、お願いいたします。

(笠原第1部会長)

第1部会は2月9日午後1時30分より2時50分まで、303会議室で会議を行いました。議事の1つ目、平成27年度自治協議会提案事業 事業評価について、資料に基づき事務局から説明がありました。改善点にアンケート項目として自由記述を設けた方がよい旨を追加することとしました。

2つ目、公開授業について、来年度実施する公開事業に関する学校との打ち合わせ結果について事務局から説明がありました。来年度実施校については、中野小屋中学校、青山小学校の2校とし、今後両校と授業の内容について検討していくこととしました。また委員から、学校と一緒に検討を始める前に、学校の意見を確認した上で、部会の企画案をある程度決めておいた方がよいとの意見が出されました。

その他では、新潟市防災会議津波対策専門会議に出席された岩協委員から会議の内容について情報提供がありました。総務課から振り込め詐欺等防止のための通話記録装置貸し出しについてお知らせがありました。次回の開催は、3月7日月曜日午後3時30分より、区役所303会議室にて、議題は公開授業についてです。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。只今の第1部会の報告について、ご質問、ご意見等ございますか。なければ続いて第2部会お願いいたします。

(郷第2部会長)

第2部会の報告をさせていただきます。開催日時は2月12日午後3時から午後4時40分まで、出席者は書かれているとおりです。議事の1番目、平成27年度高齢化をテーマに

した講演会の事業評価について、事務局から説明がありました。講演会で実施したアンケートの振り返りなどを見ながら、事業評価案の検討を行いました。概ね参加者にとっては良かったという評価があり、また新しい形で食推の方、それから図書館などに協力してもらい、先生のレシピを使ったスープの提供、先生の本が書かれている書物の紹介をやりましたので、ただの講演会ではなく、すごくよかったということを私たち自身も感じました。ただ少しお話が難しかったということと、「100歳まで元気に生きる101の方法」という副題をつけたところ、来られた方で少し勘違いをなされた方がいて、先生から101の方法が聞けると思って来たけれどそうではなかったというアンケートの結果もありましたので、伝え方が難しいなということを感じました。来年度も高齢化をテーマにした講演会をやりますので、テーマの副題、そしてお話の内容等を私たちも吟味して提案していかなければならないという話をしました。副題の案を3つほど挙げ、講師の先生から選択してもらう方法や、提案事業として講師を招へいするのだから、事前に部会で何を話していただくのか大枠を議論して、それを伝えた方がいいのではないかと、来年度に向けて皆さんで改善点を話し合いました。

もう一つの提案事業であるスポーツ鬼ごっこに関しましては、3月5日実施なので、3月の部会にて評価を行うこととしました。

2番目、平成28年度高齢化をテーマにした講演会企画について、講演とパネルディスカッションを通してコーディネートできる方、かつ内容が地域包括ケアにおける支え合いのしくみについて話せるという視点から講師案を絞り込みました。あとは先生の日程と先生をお呼びする予算です。そこは事務局で講師と最終調整を行ってもらうことといたしました。来月には講師をご紹介できるかと思っております。

3番目、スポーツ鬼ごっこライセンス講習会の当日運営について話し合いました。スポーツ推進委員やスポーツ振興会、そして今設立準備中のスポーツ鬼ごっこの愛好会と連携、協力して、当日運営を行うこととしました。会長からも来ていただき、主催者あいさつを行い、私が閉会の挨拶を行います。また部会員の中で運営補助が可能な方は、当日集まっていたいただき、協力していただくこととしました。

次回以降の議題としまして、部会において、検討を深めるべき事項について、何か学習会を開きたいということで意見交換を行いました。27年度は学校の適正配置の問題。そして公民館の利用状況、学習状況など、私たちが疑問に思っていることを来て説明していただいて、私たち部会員の共通認識を高めるような学習会を開きましたので、次回以降もまたそういった学習会を組み込みながらやっていきたいと思っています。

すみません。今2つ挙げましたが、もう一つ、地域包括ケアシステムについての学習会も行っていました。またスポット参加してくださった方からは、地域包括ケアにおける自治会などの地域での生活支援についての取組、協議体の進め方について、本会で私から報告させていただきましたが、うまく伝わっておらず、もう少し聞きたいということで参加したということだったので、その他の部分で少し確認をしました。でも先ほど市長からも

言われたように、これから作っていくということなので、みんなで継続的なテーマとして、どうやったらうまく仕組みができるかということを経験して深めていこうということになりました。

今回は、平成 28 年 3 月 15 日火曜日午後 3 時から、西区役所 3 階 303 会議室で行います。平成 27 年度のもう一つの提案事業、スポーツ鬼ごっこの事業評価、またこれからの検討課題についての話し合いを行う予定です。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。第 2 部会の報告について、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。なければ、第 3 部会の塩川部会長、お願いします。

(塩川第 3 部会長)

第 3 部会は、28 年 2 月 3 日午後 3 時より 5 時 5 分まで、会場は西区役所の 3 階 303 会議室でした。出席者は記載のとおりでございます。議事の 1 つ目、2016 西区の特産品・観光地カレンダーの事業評価について、事業評価にかかるスケジュールとカレンダーに対する市民アンケートの集計結果について事務局より説明があり、アンケート結果を踏まえ、事業評価書の内容について検討し、次回部会で最終確認を行うことといたしました。

2 つ目、2017 西区の特産品・観光地カレンダーについて、写真公募要領の作成に向けて、提出方法や著作権などについて検討を行いました。次回部会で企画書（案）とともに写真公募要領（案）について最終確認を行い、本会で承認を得るように進めることといたしました。

3 つ目、平成 28 年度実施予定の商店街等活性化研究・実践事業に向けた大学や新潟西商工会との協議状況について、事務局より報告がありました。前回部会で提案された商店街視察について、商店街等活性化・実践事業を見据えて、内野地区を対象として商店街視察スケジュールの検討を行いました。視察については現地視察や関係者との意見交換の場を設けることとし、その時間を十分確保するため、視察のみの部会を開催することといたしました。

今回の開催日程については、協議の結果、第 11 回は 28 年 3 月 4 日金曜日午後 3 時より、場所は西区役所 3 階 303 会議室にて、議題は 2017 西区の特産品・観光地カレンダーについてです。第 12 回は平成 28 年 3 月中旬となっておりますが、14 日になりました。議題は内野地区の商店街視察及び関係者との意見交換でございます。以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。第 3 部会の報告について、何かご質問、ご意見等ございますか。坂井委員、お願いします。

(坂井委員)

公募委員の坂井です。今塩川部会長がおっしゃったように、内野地域の商店街の問題がいよいよ進みはじめまして、私の仕事でもありますので、試みの案なのですが、内野地域の商店街の活性化についてのプランを立ててみました。今日は中身を詳しくお話申し上げませんが、内野地域の商店街のSWOT分析、前に少し紹介したことがありますけれど、内部的な強み、弱み、外部的なチャンス、ピンチに基づいて分析をして、どんなことができていくかということを経営的な政策の中から取り上げて、特に大学との協働ですね。ここについてのものを作りました。これは部会長と事務局にはお渡ししておりますので、よろしければ部会員の皆さんにも見ていただきながら、論議を深めていきたいと思っています。

併せて私はすべての部会にスポットで出ているのですが、暇だから出ているということもないのではないのですが、実はいろいろと実践したいことがありまして、さっき郷部会長がおっしゃいました地域包括ケアシステムの問題で、75歳以上の高齢者が290人いるというお話と、そのうち約百三十数人が高齢者だけで住んでいるというお話は前にしたことがありますけれど、その方たちに地域の茶の間と支援体制をつくろうということで、いろいろ区役所とも相談して、大きな援助もいただけることになりました。3月24日に、地域の民生委員の方が高齢者のことをつかんでおりますので、その方と区役所の支え合いのしくみづくり会議の方、あと地域包括支援センターの方に来ていただいて、有志が集まって、具体的にどんなふうにしていくかということ、資料を作りましたのでこれも動きが始まっていきます。

それと、うちの町内会は自主防災組織がなくて、コミ協にも参加していません。災害時の要支援者の問題は、地域のお年寄りの問題とダブるところがあるものですから、地域防災計画のうち、自主防災組織の結成と活動についての部分を取り上げて、その問題も進めていくということで、頭でっかちな坂井が実践の場にも入っていくということで進めていきたいと思っています。その都度、その部会にいる皆様のご意見、お力添えをいただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

(岩協会長)

ありがとうございました。さっき市長が言いました地域の茶の間。手を挙げるようでしたら、区役所からも協力してやってください。

ほかにご意見、ご質問等がありますでしょうか。なければプロジェクトチーム1の部会長、お願いいたします。

(大谷一男プロジェクトチーム1部会長)

それではプロジェクトチーム1の報告をいたします。2月5日に10回目の会議を行いました。出席委員及び会議の内容は会議概要記載のとおりでございます。第17号の作成状況

を確認いたしました。1面は対談形式で自治協議会の役割や活動などを紹介する予定でございます。それから2面、3面についてはインタビュー形式で1年間の振り返りをするという内容でございます。4面は次年度のカレンダーの写真公募のお知らせ、それからとおきの私の一枚、クロスワードパズルの答えを掲載いたします。それからホームページに接続できるQRコードの掲載を予定してございます。

なお、クロスワードパズルの正解者の中から抽選で20名の方に1,000円の図書カードをプレゼントすることにしてございますので、本会終了後、この場で皆さん立ち会いのもとで抽選をさせていただきたいと思っております。初校から3校まで繰り返しまして、3月16日に校了を終え、3月24日に各自治会長宛てに郵送する運びで現在進めております。

それから今日お手元にクロスワードパズルの応募結果をお配りしてございますので、ご覧いただきたいと思いますが、今年は318通と数多くの応募をいただいておりますし、数多くの感想、意見等も寄せていただいております。ぜひともお目通しいただきたいと思いますが、全体を通して大変私どもに勇気を与えていただけるようなコメントをたくさん頂戴しております。中にはチクリとそうでない意見もございますが、これはそれなりに傾聴していきたいと思っております。次回は3月4日に会議を予定してございます。以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。皆様方何かご質問等ございますか。大谷部会長が言いましたクロスワードパズルは8区のうちでうちだけなのです。今ほかの自治協でもいろいろな提案をして、紙面づくりに努力しておるといことでございますので、負けないように一つお願いいたしたいと思っております。はい、坂井委員。

(坂井委員)

私たちも応募してよろしいのですか。

(大谷一男プロジェクトチーム1部会長)

よろしいです。

(岩協会長)

そういうことでございますので、ご協力のほどお願いいたします。

< 5 報告事項 (1) 新潟市国民保護協議会の結果について >

(岩協会長)

それでは報告事項でございます。報告事項の(1)新潟市国民保護協議会の結果について、私から報告したいと思っております。資料3でございます。この国民保護協会のテーマとい

うのはいわゆる有事、テロや戦争のときについてのことです。災害については防災会議というのがありますから別にやりますが、防災会議と同様に、国民の皆さん方に有事の際にはご協力してください、行政の指示に従ってくださいということでございます。そういったときの行動などが書かれている計画が出されているということでございます。この今までの計画を、Jアラートやエムネットという新しい警報装置ができたので、新たに名称変更付け加えたいという変更点の確認が主な内容でございます。協議会の内容などは資料を見ていただければ結構かと思えます。以上で私の報告は終わりますけれど、この件について何か質問等ございますか。なければ次へ進みます。

< 5 報告事項 (2) 水と土の芸術祭 2015 実行委員会 第4回総会の結果について >

(岩協会長)

(2) 水と土の芸術祭 2015 実行委員会第4回総会の結果について、会議に出席した大谷一男委員からご報告をお願いいたします。

(大谷一男委員)

それでは資料4をご覧くださいと思います。去る2月9日に開催されました水と土の芸術祭 2015 実行委員会の第4回総会に出席いたしました。総会では篠田市長の挨拶に続きまして、「新潟市の潟を鳥の目で訪ねる旅」というビデオの上映がございました。新潟市内には16カ所の潟や池がありまして、西区はご覧のように4つの潟や池が紹介されておりました。佐潟については十分ご承知のことと思いますが、御手洗潟、ドンチ池、金巻の池についても、ぜひその存在をご承知おきいただければと思います。

1号議案は事務的な内容ですし、めくっていただきまして2号議案は、1月26日の本会で報告された実施報告書と同一のものでございました。それから3号議案は、実行委員を対象にしたアンケートの取りまとめでありまして、いずれも議案は承認されております。

私からはアンケートの結果について、かいつまんで報告をさせていただきたいと思えます。恐縮ですが、第4回総会資料をご覧くださいと思います。ページが振ってございます。1ページの水と土の芸術祭が本市にとってプラスであったかどうかの問いに対しまして、①歴史文化の再発見、それから③市民や地域の文化活動、それから⑤の地域の活性化、地域活動、市民協働という項目に評価する回答が多かったという内容でございます。それから次2ページ、3ページに入りますが、こちらの方は水と土の芸術祭は成功だったのかどうかという問いに対しまして、①成功と思う、②どちらかといえば成功と思う。この2つの項目で見ますと、94%の高い評価が寄せられております。また過去のアンケート結果と比較しても、肯定する値が伸びているとの報告がございました。

それから4ページ以降にまいります。こちらについては、水と土の芸術祭の継続開催についての問いでございます。①継続した方がよい、②事業を見直して継続した方がよいという設問に、88%の高い評価が寄せられておりました。しかも過去のアンケートの比較に

において、やめたほうがよいという値については、2009年の15.7%、2010年の12.0%、そして今回の2015年の4.0%というように、否定的な意見は少なくなってきたとの報告がございました。そのようなこともございまして、引き続き、第4回水と土の芸術祭は3年後でございますが、2018年につなげていくことの確認が行われました。簡単ですが、以上報告といたします。

(岩協会長)

ありがとうございました。今の報告で何かご意見、ご質問等ございますか。なければ、次第の最後に進みます。

<6 その他>

(岩協会長)

その他の項でございます。事務局から何か報告はありますか。

(事務局：堀企画係長)

それでは恐縮でございますが、何点かご連絡させていただきます。まず次回会議の開催日についてご連絡でございます。お手元のA4資料、平成27年度西区自治協議会開催予定をご覧ください。次回第12回本会は、3月25日金曜日午後3時から、会場は1階の大会議室でございます。本日と異なりますのでご注意ください。

続きまして来年度の開催日についてご連絡です。お手元の平成28年度西区自治協議会開催予定をご覧ください。正副会長とご相談の上、日程案を作成させていただきました。なお、6月、9月、12月、2月につきましては、市議会等の開催がございますので、日程等が変更する場合ございますので、その場合については、事前にご連絡させていただきたいと思っております。ご勤務の方の状況などを踏まえ、最大限調整させていただきました。皆様からご了承いただければ、この日程にて次年度段取りを進めたいと思っておりますが、いかがでございでしょうか。

— 異議なし —

ありがとうございます。そういたしましたら、4月よりこの日程のとおり準備させていただきたいと思っております。続きまして、ミニコンサートのお知らせでございます。3月18日金曜日12時20分より、西区役所健康センター棟1階にて、ジャズ演奏をお届けいたします。多くの方から足をお運びいただければと思っております。続きまして、セカンドライフ農業講座のお知らせでございます。3月19日土曜日午後2時から、坂井輪地区公民館5階ホールにて「健康な生活と美しい街づくり」と題して講演会が開催されます。参加をご希望される方は、チラシ裏面記載のコールセンターまでお申込みくださいますようお願いいたします。

ます。これ以降は各種広報紙でございますので、後ほどご覧くださいますようお願いいたします。事務局からは以上となります。

(岩協会長)

ありがとうございました。委員の皆様方、何かございますか。

では最後になりますが、委員の皆様方、会議終了後に私から少しお話したいことがありますので、お残りください。また先ほどプロジェクトチーム1の部会長からもお話がありました。クロスワードパズルのプレゼント当選者を決める抽選も行ないますので、時間のある方はぜひくじを引いて参加してください。それではこれで平成27年度第11回西区自治協議会を閉会いたします。ありがとうございました。